

8月の消防広報重点事項

発行 平成30年7月12日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

● ガソリンの貯蔵・取扱いに注意しましょう。

花火大会や夏祭り、秋祭り等の多数の観客等が参加する行事で火災が発生すると、被害が甚大になるおそれがあります。

平成25年8月15日には、京都府福知山市花火大会で、露店関係者が発電機に燃料を補給する際に、ガソリン携行缶からガソリンが噴出するとともに、露店の火気に引火して爆発的に燃焼し、死者や負傷者が多数発生しております。

《ガソリン携行缶を使用するときの注意点》

- ① 直射日光の当たる場所や高温の場所で保管しない。
- ② フタを開ける前に発電機等のエンジンを停止する。
- ③ 周囲の安全を確認する。
- ④ フタを開ける前にエア抜きをする。
- ⑤ ガソリンの噴出に注意する。

※ 屋台などの露店で火気を使用する場合は、消火器の準備やあらかじめの消防署又は消防出張所への届出が必要です。



ガソリンの貯蔵に適した容器の例（金属製容器であること）



ガソリンの貯蔵に適さない容器の例（樹脂製容器は火災危険性が高い）

● 川での水難事故を防ぎましょう。

川での楽しいキャンプ・釣りや水遊びも、急な増水により、死者が発生する水難事故につながる可能性があります。

これは、上流の山間部などで雨が降ると、気づかないうちに川の水位が急に上昇するためです。

《避難のポイント》

- ① 水が流れてくる方の空に黒い雲が見える。
- ② 落ち葉や流木、ゴミが流れてくる。
- ③ 雨が降り始める。
- ④ 雷の音が聞こえる。



● 花火による火災の防止

○ **花火は楽しく安全に遊びましょう！**

夏の風物詩「花火」も、取扱いを誤ると火事や火傷^{やけど}などの事故につながりかねません。事故が起こらないよう十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

<花火を安全に遊ぶポイント>

- ① 気象条件を考え、風の強いときは花火をしない。
- ② 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ③ 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ。
- ④ 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- ⑤ 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける。



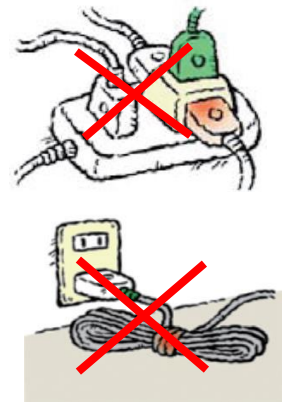
● 電気器具の安全な取扱い

電気器具は、使用者の取扱いの不注意や誤った使用方法から火災となる場合があります。

電気器具を使用する際には、次のことに注意しましょう。

《注意事項》

- ① 使用しないときは、コンセントから抜く。
- ② たこ足配線は、絶対にしない。
- ③ 差込プラグに付着したほこりなどは取り除く。
- ④ 傷んだコードは使用しない。
- ⑤ コードは束ねた状態で使用しない。



● 盛岡市内の1月から6月までの火災件数

	平成30年	平成29年	比較増減
火災件数	15件	22件	7件減
死者数	2人	1人	1人増

※平成30年6月中の火災はありませんでした。